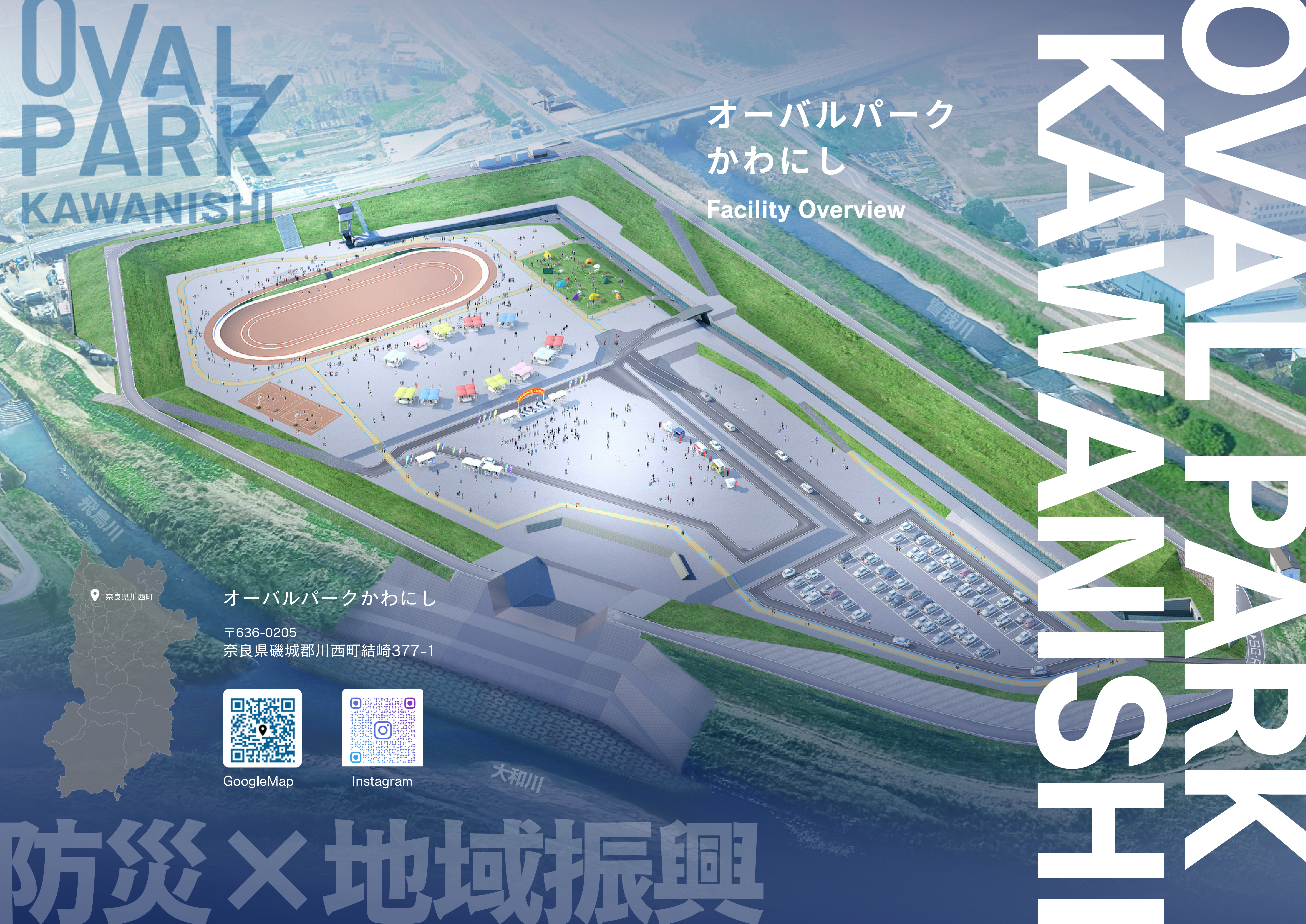
OVAL
PARK
KAWANISHI

オーバルパーク
かわにし

Facility Overview


曽我川
飛鳥川
大和川
奈良県川西町

オーバルパークかわにし

〒636-0205
奈良県磯城郡川西町結崎377-1

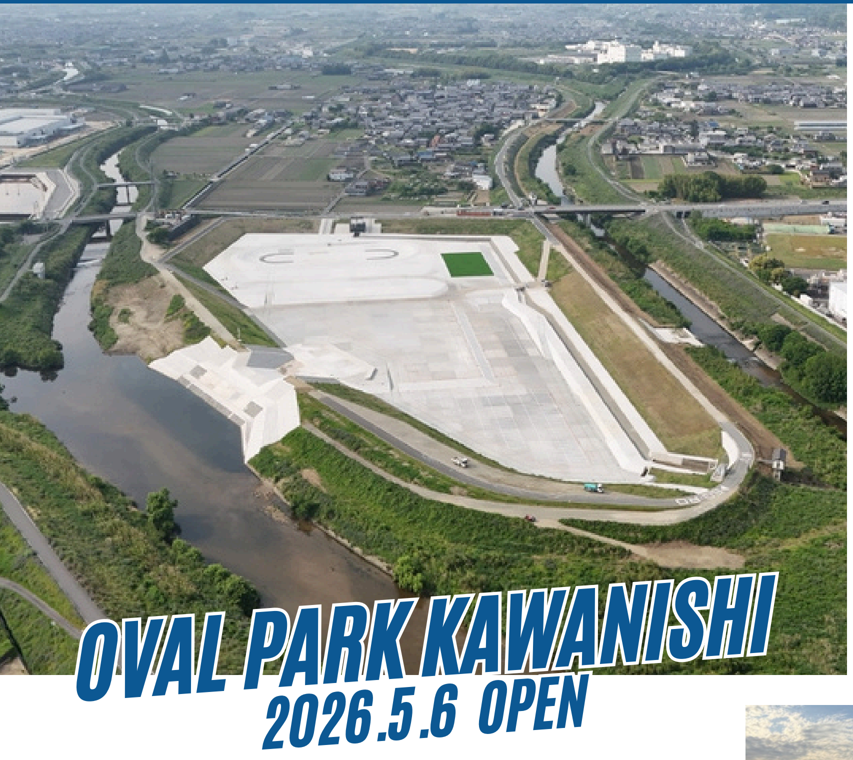
GoogleMap

Instagram

防災×地域振興

OVAL PARK
KAWANISHI

オーバルパークかわにし



国土交通省大和川河川事務所と共に整備を進めた「保田遊水地」。大和川中流域に計画されている5つの遊水地の“第1号”として、2025年6月より運用を開始しました。川の洪水（外水）だけでなく、周辺地域の内水も同時に取り込む構造は国内でも極めて稀な先進的システムであり、地域の浸水被害を圧倒的に減少させています。

2026年5月、この巨大な国家インフラの平時利活用として「オーバルパークかわにし」がグランドオープン。平常時はスポーツと交流が溢れる「賑わいの拠点」でありながら、有事には地域を守る「防災シンボル」となる、未来の公共空間がここに誕生しました。

スポーツ×防災拠点 ×賑わい

スポーツの力で、若者に選ばれるまちへ

国内初の国際規格に準拠したオーバルトラックを活用し、「する・見る・応援する」機会の創出を通じて活気あるまちづくりを推進します。

全日本選手権大会の開催をはじめ、日本代表の強化合宿誘致や海外トップ選手の施設利用により、世界と全国から人が集うスポーツツーリズムを展開します。さらに現役の日本代表選手が直接指導する体験会やスクールを定期開講し、未来のジュニアアスリートを育成します。

日常と非常時をつなぐ、新たな防災拠点へ

保田遊水地は、町を守る砦となる治水施設としての運用を開始し、地域の安全・安心を支える防災拠点としての役割を担います。

2026年10月には「奈良県防災総合訓練」の会場として実際に訓練が開催され、町の災害対応力はさらに向上します。平常時の利活用による賑わい創出と、非常時の防災機能を高度に両立させることで、地域住民にとって身近で頼りになる「防災のシンボル」を目指します。

誰もが集い、暮らしを楽しめる広場へ

インラインスケートのほか、3×3バスケコートや広大な芝生広場を整備。遊水地ならではの圧倒的な大空間は、多彩なスポーツ大会や自由で創造的なイベントデザインを可能にします。

2026年5月6日に開催したオープニングイベントでインラインスケートの体験会やマルシェを行い、約2000人が来場。無限の可能性を秘めた「開かれた公共空間」として、日常の憩いから大規模イベントまで、地域を豊かに彩る活気ある場所づくりを推進します。

インラインスケートの町、かわにし

保田遊水地上部利用に関する連携協定締結式
（仮）かわにしアーバンスポーツパーク
奈良県川西町 ×（一社）ワールドスケートジャパン

2024年12月に一般社団法人ワールドスケートジャパンと連携協定を締結。同団体が主催する大会や海外の著名指導者を招いた講習会の開催に加え、合同練習会の活動拠点として協力。世界で戦える選手を育てる取り組みを、強固なパートナーとして支え続けています。

奈良県
川西町
×
WORLD
SKATE
JAPAN

トップアスリートが奈良に集結

国内唯一、国際規格に準拠したインラインスピードスケート専用トラックを完備。2025年に続き、2026年も日本代表の選考を兼ねた「全日本選手権大会」を2年連続で開催しました。今後は「国際大会の開催」を見据え、国際基準を満たす競技用塗装の実施に向けた取り組みを進めていきます。世界に挑むトップアスリートの聖地として、町はさらなる施設進化と支援を続けていきます。

写真：第70回全日本選手権大会inオーバルパークかわにし

ジュニアアスリートを育成

体験会やスクールの定期開催をはじめ、幼稚園や小学校の出張体験会も実施し、インラインスケートの普及に取り組んでいます。

今年は県のジュニアアスリート育成プログラムの一環としても実施し、大きな一歩を踏み出しました。町としてもジュニアアスリートの育成に注力しており、この恵まれた環境を活かして、川西町から世界を舞台に活躍する選手が誕生することを目指しています。

写真 :5月に開催したインラインスケート体験会の様子

現役の代表選手が町で活躍

総務省の制度を活用し、世界で戦う現役アスリート3名が川西町に集結。施設の運営者として体験会やスクールの企画から、選手ならではの経験やノウハウを活かしたスポンサー獲得まで、行政の枠を超えた前例のない施設運営に挑戦しています。世界を知る現役の選手だからこそ生み出せる熱気で、地域をそしてインラインスケート界を盛り上げていきます。

写真： 川西町で勤務する地域活性化起業人たち

オーバルパークのスペシャリスト

川口 哲平

2026年4月に川西町で開催された「第71回全日本トラックレーススピード選手権」で総合優勝
2年連続の王者として業界を牽引
所属：NARA ELITE
※2025年10月より派遣

高萩 嬉ら

2026年4月に川西町で開催された「第71回全日本トラックレーススピード選手権」で長距離3種目優勝
長距離種目のタイトルホルダー
所属：BLIZZARDクラブ
※2025年10月より派遣

高萩 紗ら

2026年4月に川西町で開催された「第71回全日本トラックレーススピード選手権」で短距離1種目優勝
爆発的な加速力が武器の短距離選手
所属：BLIZZARDクラブ
※2026年1月より派遣